



▲木村学副市長ら関係者約50人が出席した工事安全祈願祭

舞鶴若狭道 敦賀南スマートIC着工 関係者50人が工事の安全を祈願

▼玉串を捧げ工事の安全を祈る粟野地区の代表者(左から粟野地区区長会の前田凱彦副会長、長谷の津田保区長、舞鶴若狭道長谷地区対策委員会の阪野良輔委員長)



舞鶴若狭自動車道「敦賀南スマートインターチェンジ(IC)」の工事安全祈願祭が3月13日、敦賀市長谷の工事現場で開かれました。

このインターは若狭湾エネルギー研究センター近くに位置し、2017年3月の供用開始を目指しています。完成すれば、周辺住民の利便性や市外からのアクセスが向上し、観光や産業の振興による市全体の活性化が期待されるほか、緊急時の避難や輸送も可能となることから、粟野地区区長会は8年前から市への「重点要望事項」としてICの開設を求めてきました。敦賀南スマートICはETC搭載車専用で、総事業費は約25億円。このうち市が2億5千万円を負担することになっています。

